



◎戦国乙女2～深淵に輝く気高き将星～

今回取り上げるのは、平和から1月下旬に市場導入される予定の

「戦国乙女2～深淵に輝く気高き将星～」(オリンピア製)です。

同社の人気萌え系パチスロシリーズ第3弾となる本機は、

ART機だった前作までと異なり、擬似ボーナスで出玉を増やすAT機。

「パチスロラブ嬢」で好評だったシステムも搭載。稼働貢献が期待できる1台です。

1セット70Gの「真乙女ボーナス」(約203枚)と1セット30Gの「乙女ボーナス」(約87枚)という二つの擬似ボーナスを搭載。さらに、継続率50～80%のボーナスストック特化ゾーンなどで期待感を盛り上げる。

ストックする仕掛けが充実

擬似ボーナスで出玉を増やすタイプで、純増は約2.9枚/Gです。コイン単価は約2.5～2.7円、ペースは50枚当たり約46G、出玉率は96.9～110.5%、AT初当たり確率は1/384.9～1/247。天井は999Gです。

■通常時のボーナス抽選契機

通常時は、主にレア役を契機にボーナスに当選しますが、そのほか、プレイヤーを引き付けるのが「天下ポイント」というシステムです。

同システムは、通常時、小役がそろうつど、ポイント獲得抽選を行い、ポイントが合計で1万ポイントに到達すると、ボーナスストック高確率ゾーンの「天下統一モード」に突入します(ボーナス期待度は約50%)。

これは「パチスロラブ嬢」が搭載していた「キャバポイント」を継承したものの。1万ポイントに達するまでの間に、何回ATに突入しても、ポイントは持ち越し。そのため、ATが終了しても、プレイヤーを引きとめる効果が期待できるとして、好評を博しました。今回も、同様の効果が期待されます。

■ボーナス①

「天下統一モード」に突入すると、連続演出から敵キャラクターたちとのバトルに発展。バトルは最大3回で、その勝利数に応じて、得られる“報酬”

が異なる仕掛けになっています。

1回勝利で乙女ボーナス、2回勝利で「乙女ボーナス+真乙女ボーナス」、3回勝利で「乙女ボーナス+真乙女ボーナス+真鬼神討伐」が得られます。

乙女ボーナスは赤7ぞろいの大当たりで、1セット30G(約87枚)。真乙女ボーナスは白7ぞろいの大当たりで、1セット70G(約203枚)。乙女ボーナス消化中に昇格演出が発生すれば、真乙女ボーナスに昇格します。

「真鬼神討伐」は、ボーナス終了時にストックがなかった場合に突入するチャンスゾーン「鬼神討伐」(最大15G継続)から発展する超チャンスゾーンで、バトルに勝てば、ボーナスが確定。勝利期待度は80%以上です。

■ボーナス②

さらに、ボーナス中は、レア役でボーナスストック高確率状態の「乙女乱舞モード」(7G)への突入を抽選。ストックへの期待感を盛り上げます。

そして、ボーナス終了時にストックがある場合は、乙女ボーナスor真乙女ボーナスorボーナスストック特化ゾーン(1セット5Gが50～80%でループ)への発展が期待できる「ユウサイチャンス」のどれかが確定します。

一方、ストックがない場合は、先にも述べたように、チャンスゾーン「鬼

神討伐」に突入。勝てば、やはり「強カワチャンス」に突入します。

■引き戻しチャンスゾーン

また、「鬼神討伐」でバトルに敗れても、引き戻しが期待できる「オウガイ無双モード」に突入する場合は、「オウガイ無双モード」は平均18G継続。その間に敵キャラのオウガイを倒すことができれば、ボーナスが確定します。

1月18日から市場導入予定で、初期台数は約1万5000台だとか。

同じ時期にスペックがかぶる新台がないことや、実績のあるコンテンツであることから、導入台数を見誤らないかぎり、稼働貢献が期待できます。

ただ、乙女ボーナスは30Gしかないなど、ボーナスのストックには多少ハードルが高めの部分も。大量出玉には時間がかかる機種です。それを感じさせないように、引き戻しチャンスゾーンを搭載するなどしているわけですが、それがどう評価されるか注目です。

PROFILE

糸柳達成 (いとやなぎ たつなり)

株式会社アテイン 代表取締役

関東の老舗ホール企業で約17年半勤務。店長としても新規・リニューアルを含めて6店舗を経験。業界歴は25年以上。現在はホールコンサルタントのほかにも店長研修、セミナー講師、集客企画などマルチな活動を行っている(詳しくは<http://at-attain.com>参照)。「パチンコ必勝ガイド」「パチスロ必勝ガイド」など、ファン雑誌への登場も多数。